



Kazu Sawada

## 2015年ニューヨーク研修 ~英語の観点~



私の英語力はかなり低いので、ここに書くことはみんな知っていることかもしれませんが、私なりに分かってなかったことを書いていきます。

### ● Hearing

真剣になって聞こうとすればするほど、単語を lost したときに軽くパニック状態になって後の単語を全て落とす、となり、全く聞き取れない状況になるということが分かりました。Take it easy & calm down が重要なのですね。

### ● 初見と二度目

Mr.T の assistant=Ms.C は、気を使って私の席まで毎日挨拶しに来てくれます。で、3日目の水曜日に「今日は Mr.T が来るわよ」と教わり「I'm lookin' forward to meeting him.」と答えたら「Have you never met him?」と言われました。「No, I've already met him」と答えたら「そりゃそうよね」と。この会話を横で聞いていた Mr.D が「初めて会うのは meet。2回目以降は see を使うんだよ。だから、彼女は初見なのかと勘違いしたんだ。」と教えてくれました。

### ● 発音

本当に難しいです。「Papa」と聞き取った単語が「Popper」だったり、チップ (tip) といったつもりが「cheap」に聞き取られたりと。。。



### ● ねぎらい

くしゃみをしたら、すかさず「bless you」と100%いわれます。日本にはなかなかない習慣なので、ちょっと戸惑ってましたが、Mr.D がくしゃみをしたとき、思い出したように「bless you」といってみたら、「oh, yeah.」と。Thank you に対する you're welcome と同じですが、なかなか直ぐに口が動かないのがもどかしいです。

- **悲痛**

ヤンキースでの試合観戦のときのこと。当然、SSMPは地元ニューヨークヤンキースを応援です。8回が終わって5対2でヤンキースリードで迎えた9回の表。相手が2ベースホームランを打って5・4に迫られたとき、周囲から「anymore〜〜!」という悲痛な声が聞こえました。「もうやめて〜〜っ」って感じでしょうか。

- **便利な表現**

Sure=もちろん!といった勢いのある単語のように思っていたのですが、「質問していい?→sure.」「ありがとう→sure」のような感じで「そんなの気にするなよ。」のようなニュアンスで使用されていることが多いです。

- **惜しい!**

ボーリング大会が開催されました。「惜しいっ!」って言いたい状況が良くあったんですが、英語だと実際なんていうのか分からず、耳を傾けていました。

「close!」とか「a little!!」とか使うんですね。

- **common sense = 常識**

ちょっと審査官に常識外れな方がいらっしやいました。Lack common sense だそうです。



- **penalize = 罰する**

日本ではスポーツなどでよく「ペナルティ」という名詞を使っていますが、これが動詞の口語調になると全くキャッチできませんでした。発音をカタカナ的に書くと「ピーネライズ」。

ちなみに、punishと同じ意味で、訴訟の際には「罰する」「有罪宣告」といった意味でよく使われるようです。

- **impurity = 不純物**

pureは純粋な、といった意味、これはよく日本でも使われますが、これの名詞形ってpurityって言うのが分かっておらず、さらにその逆説でimとつけた複数形のimpuritiesといわれ、???。Chemicalの分野では良く使われる言葉だそうです。

- You know

会話の途中で 'You know' という言葉がよく使われています。「えっと、、、」みたいな感じに使っているのですが、私にはハードルが高い使い方です。一方、アメリカ特有の「nnhu...」「Auha...」みたいな相槌は徐々に使えるようになってきました。

- Lion King の舞台鑑賞をしました。

一時期、舞台の音響をやっていたこともある私は、かなり感動しました。一方、「簡単な英語だから聞き取れるはずだよ」と Trainer に言われたのですが、半分以上聞き取れなくてがっかり。みんなが笑っているときに、その笑いの英語が聞き取れず、キョトンとする寂しさったら、ねえ。。。



- Right

これはよく耳にするとと思いますが、' . . . , right? ' っていう言葉。「いい?」「 . . . だよ?」「 . . . でしょ?」のようなニュアンスで使われています。

基本的に ' . . . don't you? ' という言葉がこれにより消滅しているような気がしないでもないです。

- Guys

'Hey guys!' という言葉もよく耳にします。ここで、疑問に浮かんだのが、女性にも guys って使ってよいのかどうか。

Mr.D に聞いてみたら、男女ミックスの複数人に使うのはもちろん、相手を特定していない状況なら女性のみでも guys は間違った使い方ではないよ、とのこと。

- Yes と No

誰でもご存知だと思うんですが、否定疑問文「～ではないのか?」と聴かれたとき、英語と日本語では Yes と No が逆転します。分かっていますが実際の会話で反射的にしゃべるとなると、全くダメになります。最近良くある会話の流れで「～できないの?」「Yes! . . . あっ! No! No! No!」と。Mr.D から「混乱するから、correct と incorrect を使ってよ」と言われました。

- 料金表って、なんていうの?

FedEX に行ったとき、Mr.D に「あーいった配送料金の表示って、なんていうの?」と聞いてみたところ、結構困った顔をしてました。正式な言い方はない (Mr.D は知らない) みたいで「レストランとかなら menu って言うけど、List かな? うーん。」みたいです。

- **completely removable とは一体?**

文書中に eliminate という文言を見つけました。一方、別案件で remove という文言を使っている場合もあったことから、「eliminate と remove の違いって何?」と Mr.W に聞いてみました。「あんまり違わないと思うな。辞書で調べてみよう。」と Web で Mr.W が eliminate について調べたところ「意味 : completely removable」だそうです。私には違いが分かりませんでした。

- **相変わらず発音の悪さは健在です**

ファーストフード店でテイクアウト（こちらでは to go）をする場合、料理が出来上がると呼ぶための名前を聞かれます。私の場合 Kazu と言っているつもりでも、発音が悪いため中々旨く聞き取ってくれません。…'Kuzu'と書かれたレシートは悲しいものでした。



- **なんてこった! の英語表現**

Oh my god! Oh my goodness! Oh my Gosh! 等、同じようで違う言葉が使われているのが気になっていたのですが、これは全部同じ意味で、宗派の違いだそうです。多教の日本人はどれでも使って良いと言われました。

- **Shock!!**

床が全面カーペットなので、しばしば静電気で指がバチッとなります。これ英語で何ていうの?と聞いてみたところ、Shock!だそうです。なんだか日本人にとってはとても重大なことが起こったような響きで、ちょっと違和感を感じました。

- **病院に行くという表現**

Mr.D が定期通院に行く、と一時不在のとき、アシスタントから「Mr.D は何処へ行ったの?」と聞かれ「He is going to hospital.」と応えたら「Really!?!?」と辛辣な顔をして退室していきました。後で Mr.D にそれを話したら、そういう時は「have a doctor's appointment」というのだよ。と教えてくれました。Hospital という言葉は、何か重大な怪我を指す時のみに使うみたいで、定期通院には使わないのだとか。翌日、そのアシスタントに謝ったら大声で笑われました。"

